

ため池ハザードマップの見方・使い方

ため池ハザードマップは、ため池が決壊した場合の浸水想定範囲と避難場所などを示したものです。予想される浸水深などの情報を提供することで、災害時の自主的な避難に役立てていただくことを目的に作成しています。

※満水状態のため池が決壊し、全ての貯水量が瞬時に流出する状況を想定しています。

- 自分の住んでいる地区が、どの程度の深さまで浸水する想定なのか確認しましょう。
- 最寄りの避難場所を確認し、安全な道のを調べておきましょう。
- ため池決壊の2大要因である“地震”と“大雨”の状況によっては、避難行動が大きく異なる場合があります。ため池以外の避難情報にも注意し、状況を確認してから避難や災害応急対応をおこなしましょう。

産業建設部 農林課
〒932-8611 小矢部市本町1番1号
小矢部市 TEL: 0766-67-1760 (代)

作成年月 令和3年3月

ため池の基礎知識

●ため池とは？

ため池は、本来、農業水利や地域防災としての役割を果たす施設です。他にも生物の生息・生育の場所の保全、住民の憩いの場の提供など、多面的な機能を有しています。

- 地域の振興
- 歴史・文化・伝統
- 豊かな景観
- 多様な生態系



●ため池の災害と課題

平成23年の東日本大震災では、ため池の決壊により尊い人命が失われるとともに、人家や農地が被災しました。また多くのため池は、農家戸数の減少や土地利用の変化から、管理及び監視体制の弱体化が懸念されています。

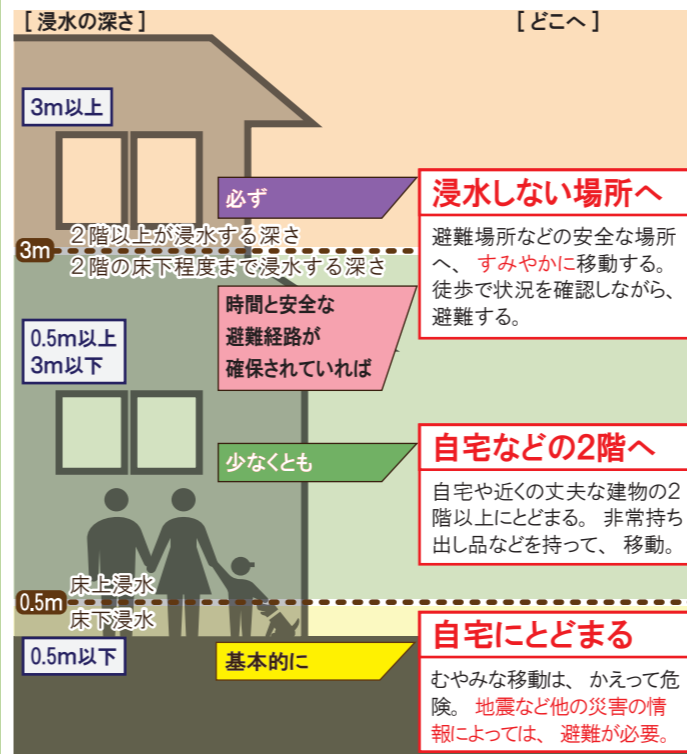


photo: 農林水産省HPより

状況に応じた避難行動の目安

●状況に応じた避難行動について

想定される浸水の深さによって、避難行動は異なります。浸水深想定や他の災害の情報から、現状を的確に認識し避難行動を行いましょう。



警戒レベルに応じた避難行動の目安

警戒レベルに相当する情報を、早めの避難行動の判断に役立ててください。市からの避難指示等の発令に注意するとともに、避難指示等が発令されていなくとも自ら避難の判断をしてください。警戒レベル5の状況では災害が発生して避難できなくなることから、警戒レベル3や4の段階で避難することが重要です。

警戒レベル	避難行動等	避難指示等の発令	防災気象情報
5	災害がすでに発生しており、命を守るための最善の行動をとる。	緊急安全確保 ※必ず発令されるものではありません。	大雨特別警報
<警戒レベル4までに必ず避難!>			
4	速やかに避難 ただちに避難を開始してください。できるかぎり近所の方にも声をかけ、協力して指定された避難所へ避難してください。十分な時間の無い方は近くの丈夫な建物の2階以上(斜面と反対側の部屋)に避難してください。	避難指示	土砂災害警戒情報
3	高齢者等は避難 非常持出品の用意など、避難の準備を始めください。お年寄り等、避難に時間がかかる方はただちに避難所へ避難してください。	高齢者等避難 ※高齢者以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。	大雨警報・洪水警報
2	ハザードマップ等で避難行動を確認する。		大雨注意報・洪水注意報
1	災害への心構えを高める。		早期注意情報(警報級の可能性)

ため池決壊と同時に注意すべきこと

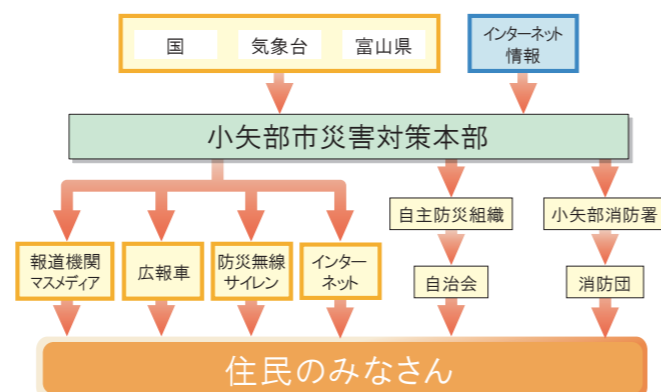
●他の災害との複合性



地震・大雨では、ため池が決壊する恐れがあるだけでなく、土砂災害など周辺で様々な災害が発生していることが考えられます。ため池決壊や他の自然災害に注意し、まずは地震・大雨の災害情報に対応してください。

情報伝達ルート

●行政から住民への伝達ルート



避難の際に大切なことは、正しい情報を入手し、あわてず冷静に行動することです。避難勧告や避難指示が出た場合は、すみやかに避難しましょう。

大雨のとき 大雨時は家屋内にいる場合が多く、屋外スピーカーや広報車の呼びかけが、雨の音で聞こえにくい場合があります。テレビやラジオなどから、自主的な情報収集を心がけましょう。

地震のあと 被災状況(屋外スピーカーの故障、広報車の通行不可、停電など)により、通常の手段を通じた情報の入手が困難になります。そのことを前提と考え、憶測やデマに惑わされず、冷静に対応しましょう。

心構えと準備

●日頃からできること

●家族防災会議を開こう!

家族の役割分担・連絡方法・避難場所の確認など、災害が発生した際の対応方法を話し合っておきましょう。

●危険箇所を知ろう!

避難場所までの道順にある危険箇所を、日頃からチェックしておきましょう。

避難の際に持ち出す「非常持出品」をあらかじめ用意しておきましょう。

- 衣類**
下着、靴下、季節に応じた厚物、軍手、ヤッケ、シューズ(包帯やひもとして活用)
- 救急薬品**
救急箱(三角きん、ガーゼ、ばんそうこう、体温計、消毒液、常備薬など)
- 貴重品**
現金、貯金通帳、印鑑、権利書など
- 非常食**
飲料水、缶詰、レトルト食品など



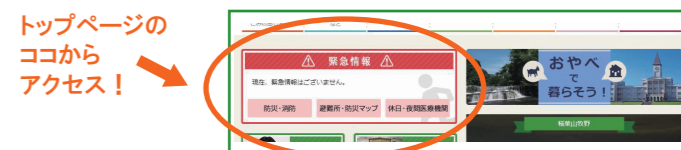
- 道具**
携帯ラジオ、懐中電灯、紙コップや皿、ローソク、タオル、石鹸、ちり紙、ひも、ロープ、針金、ナイフ、ビニール敷物、ライター、新聞紙(敷物などに活用)

災害時の情報収集

●いろいろな情報収集手段を用意

災害時には、いろいろな手段で情報を入手できるようにしておきましょう。防災関連のページなどは、日頃から閲覧してみて、リンクしておきましょう。

★小矢部市ホームページ 防災関連情報まとめ
<http://www.city.oyabe.toyama.jp/>



★小矢部市 防災・緊急情報メール配信サービス(要登録)

気象警報の発表や河川の増水等の情報をメールで配信するサービスを行っています。防災の備えとして、ぜひ登録をお願いします。

■配信内容: 防災緊急情報、地震情報、気象情報、指定河川情報、クマ目撃情報等

●システムへの登録について

下記のアドレス、もしくは右のQRコードから、空メールを送信し、登録手続きを行ってください。詳しくは、防災ハンドブック、小矢部市ホームページなどをご覧ください。



空メールアドレス: bousai.oyabe-city@raiden.ktaiwork.jp

★富山防災WEB
<http://www.bousai.pref.toyama.jp/>

★携帯電話会社 緊急速報メール配信(登録不要)

★災害用伝言ダイヤル「171」

災害が発生し、電話がつながりにくくなった際に、NTTから提供される「声」の伝言板です。